

7.9.5 元気話・丁半の話

確率の考え方が根付くまでは出方だけで事象を考察していました。といったことから以下の話を考えてみました。昔々の助さん、格さんの会話です。

助さん「おい、格さんご隠居に黙ってこんな所に来ていいのかよ？」
格さん「たまにはいいじゃないか。ところで助さん半、丁どっちに賭ける？」
助さん「俺は絶対丁中心だな。」
格さん「どうして？」
助さん「だってよ、格さん。調べたんだ、丁の方が出方がたくさんあるんだ。」

助さんメモ

丁 (12通り) : 1-1, 1-3, 1-5, 2-2, 2-4, 2-6
3-3, 3-5, 4-4, 4-6, 5-5, 6-6
半 (9通り) : 1-2, 1-4, 1-6, 2-3, 2-5, 3-4
3-6, 4-5, 5-6

格さん「なるほど…。それは知らなかったな。助さん頭いいじゃないか、じゃ俺も今日は丁を主体に狙っていこうかな。」
助さん「ご隠居もいないことだし、小遣い稼いで帰ろうぜ。」

数時間後、2人の財布の中は空っぽになってしまいました、とさ。